

平成26年7月31日

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤 高志
(コード番号：9024 東証一部)
問合せ先 取締役広報部長 西山 隆一郎
(TEL. 04-2926-2645)

「所沢エリア開発全体の基本方針」ならびに「所沢駅東口駅ビルの計画基本方針」の決定について
～トータルコンセプト『通過する街から「働きたい、住みたい、訪れたい」街へ、そして選ばれる沿線へ』～

当社の連結子会社である西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：若林 久）が保有する所沢駅周辺エリアの社有地における「所沢エリア開発全体の基本方針」ならびに「所沢駅東口駅ビルの計画基本方針」を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、「西武グループ長期戦略」ならびに「西武グループ中期事業計画(2014～2016年度)」(2014年2月27日発表)に掲げておりますように、不動産事業を「企業価値向上の鍵」と位置付け、グループ保有資産の有効活用により、潜在的な収益力を顕在化させることで、グループ企業価値の向上を目指しております。

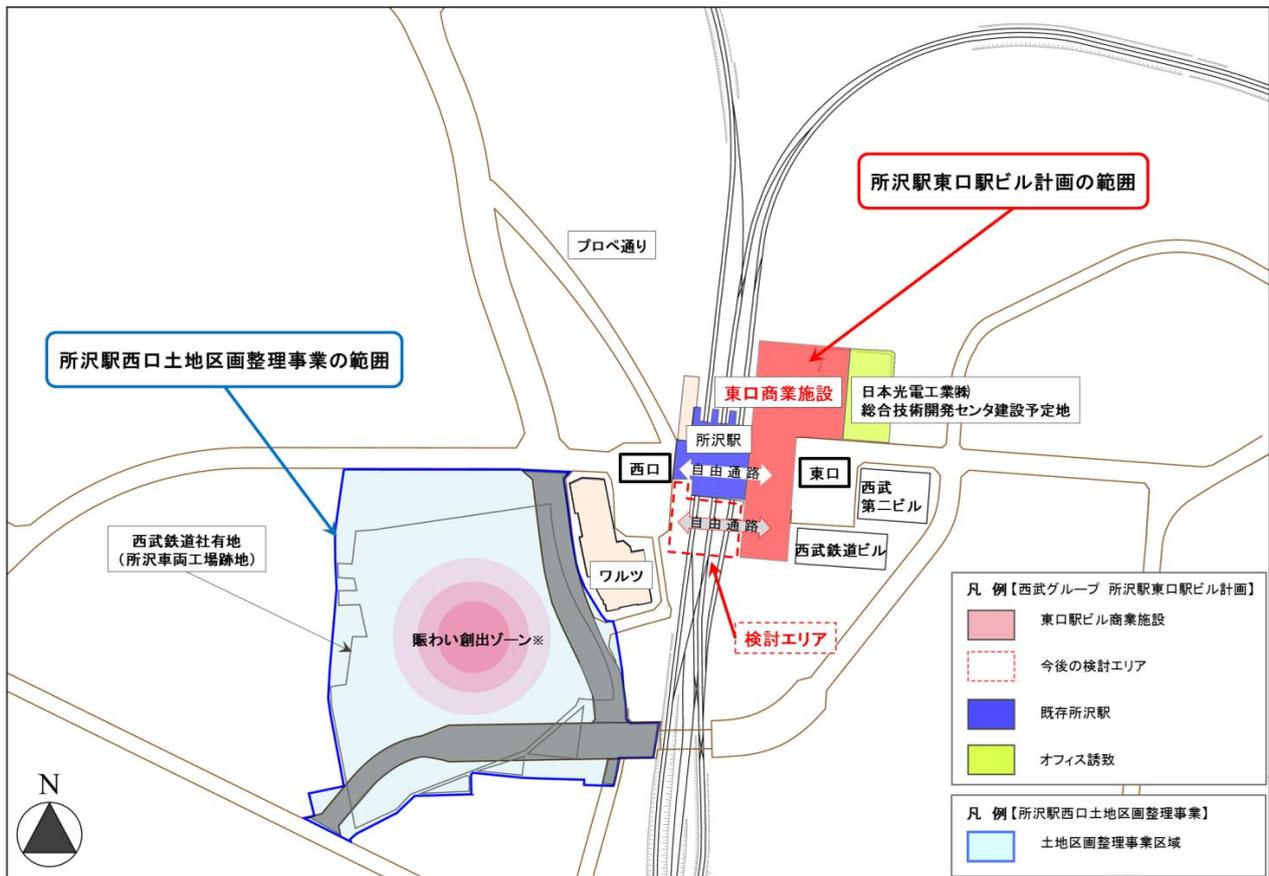
西武グループ長期戦略において、所沢エリアは、不動産事業では「沿線の中心衛星都市(重要な交通結節点)である所沢を中心に、住環境の魅力向上・周辺地域の利便性を高めるエリア」、都市交通・沿線事業では「西武線のイメージ向上の原動力として働きたい街・住みたい街・訪れたい街が両立するエリア」をその目指す姿として位置付けております。

今回決定した「所沢エリア開発全体の基本方針」は、トータルコンセプトを『通過する街から「働きたい、住みたい、訪れたい」街へ、そして選ばれる沿線へ』とし、沿線人口や鉄道を利用されるお客さまを増やすことで、目指すべき姿を具現化させてまいります。東口エリアにつきましては、駅をご利用されるお客さまや近隣にお住まいの皆さまにとって利便性が高い「コミュニティ型の商業施設を中心とした駅ビルの開発」を、西口エリアにつきましては、西武鉄道社有地(所沢車両工場跡地約59,000㎡)において、「広域集客型の商業を核とした大規模開発」をおこなうこととし、東口・西口ともに商業施設を核とした開発を推進することといたしました。

また、「所沢駅東口駅ビルの計画基本方針」につきましては、東口社有地において、現在の所沢駅と接続した商業施設を計画することといたしました。さらに、街の将来像を見据え、お客さまがご利用しやすい駅となるよう、線路上空を含めた駅南側の開発も今後検討してまいります。先般発表いたしました日本光電工業株式会社への東口エリアの土地・建物賃貸(2014年5月8日発表)と本基本方針を推進させることにより、駅の拠点性および保有不動産の収益力向上をはかってまいります。

なお、西口エリアにつきましては、所沢市が「所沢駅周辺まちづくり基本構想」で掲げている「人々が集う快適で刺激的な生活、文化、情報の交流拠点」も見据え、引き続き、行政との協議や地域住民の皆さまへの説明会などをおこないながら開発の方針を検討してまいります。

○計画図（所沢駅周辺の街の将来イメージ）



■所沢駅東口駅ビル計画の概要

所在地：所沢市くすのき台一丁目

主用途：商業

敷地面積：約13,000㎡

竣工時期：2020年春 予定

■所沢西口（所沢車両工場跡地）の概要

所在地：所沢市東住吉10

敷地面積：約59,000㎡（所沢車両工場跡地）

現在、所沢市が「所沢駅西口土地区画整理事業」で推進している区域（約85,000㎡）に含まれているため同市と協議をしながら計画内容・実施時期などを検討してまいります。

※同区域中心エリアについては、2012～2013年にかけて所沢市主催でおこなった「所沢駅西口地区街づくり協議会」にて、賑わいを創出するゾーンとして位置付けられています。

以上